

参考資料

2013年度第3四半期 業績の概要

2014年2月14日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

< 連結・単体 >

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

< 連結 >

- **連結業務粗利益**

前年同期比26億円増加の180億円。
住宅ローンの積み上がりと資金利鞘の改善に加え、
リスクオンの流れでお客様の外貨取引が大きく
増加。

- **連結経常利益**

前年同期比23億円増加の52億円。

- **連結四半期純利益**

前年同期比9億円増加の32億円。

< 単体 >

- **業務粗利益**

前年同期比31億円増加の164億円。
連結と同様の要因により、
資金運用収支とその他業務収支が増加。

- **経常利益**

前年同期比27億円増加の54億円。

- **四半期純利益**

33億円へ黒字転換。
前年同期は、ソニーバンク証券株式の譲渡に係る
損失を計上したことにより純損失。

	< 9ヶ月累計 >	2012年度 3Q	2013年度 3Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	153	180	+26	+17.5%
	経常利益	28	52	+23	+82.6%
	四半期純利益	22	32	+9	+43.4%

単体	業務粗利益	133	164	+31	+23.5%
	資金運用収支	131	150	+19	+14.9%
	役務取引等収支	0	2	2	-
	その他業務収支	1	16	+14	+718.1%
	営業経費	105	109	+3	+3.7%
	業務純益	28	55	+27	+96.4%
	経常利益	26	54	+27	+104.8%
	四半期純利益	1	33	+35	-

損益の状況(2) : 社内管理ベース

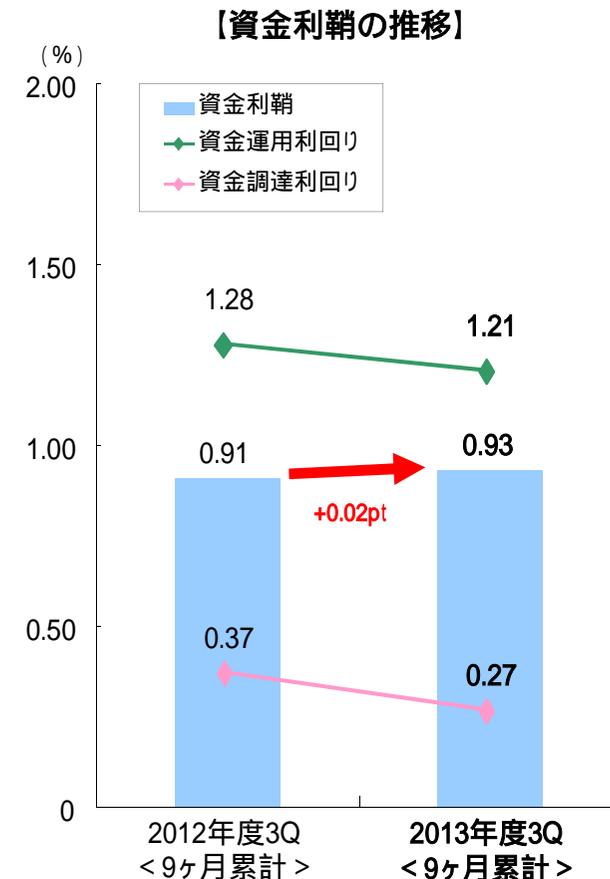
< 単体 >

- 基礎的な収益を表すコアベース業務粗利益は、前年同期比8億円増加の143億円。住宅ローンを中心とした貸出金利息の増加等により資金収支が改善したことに加え、債券関連取引等に係る損益が改善しその他収支も増加した。
- 資金利鞘は、主に資金調達利回りが低下し、前年同期比0.02ポイント改善。

(億円)

< 9ヶ月累計 >	2012年度 3Q	2013年度 3Q	前年同期比	
業務粗利益	132	163	+31	+23.6%
資金収支*1	130	137	+6	5.0%
手数料等収支*2	4	6	+2	+47.0%
その他収支*3	2	20	+22	-
コアベース業務粗利益(A) = +	135	143	+8	+6.5%
営業経費等	104	108	+3	+3.8%
コアベース業務純益 = (A) -	30	35	+4	+15.5%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示



社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

- *1 資金収支... 資金運用収支 + その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益 (為替スワップ収益等)
- *2 手数料等収支... 役務取引等収支 + その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- *3 その他収支... その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したもので、主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益

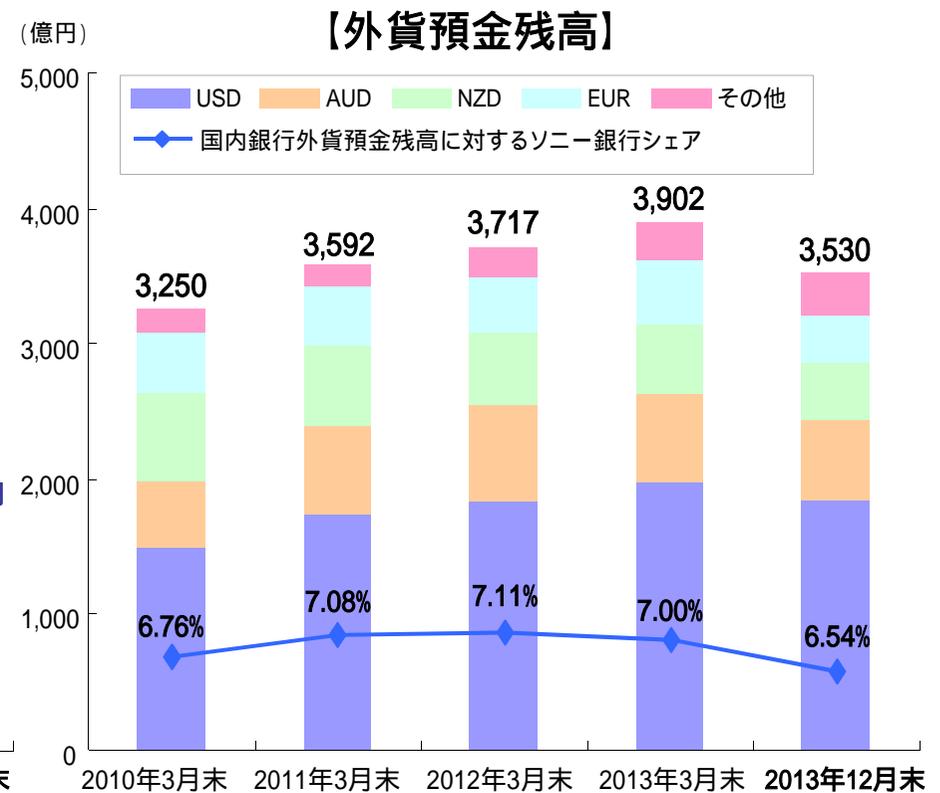
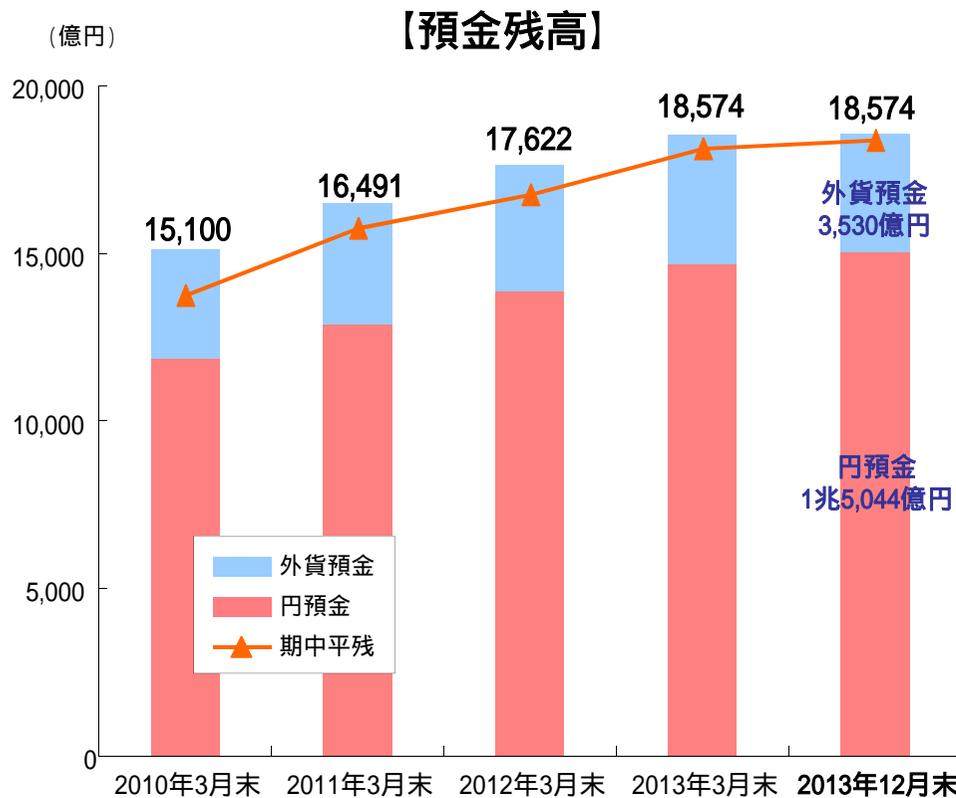
コアベース 社内管理ベースのその他収支 (主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益) を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

預金の状況

< 単体 >

- 円預金残高は、前年度末比372億円増加の1兆5,044億円。うち円定期預金残高は、リスク性資産への運用シフトから減少。
- 外貨預金残高は、円安進行に伴う利益確定の売りによる円預金への振り替えが進み、同372億円減少の3,530億円。
- 2013年12月末の預かり資産残高(預金 + 投資信託)は1兆9,729億円。

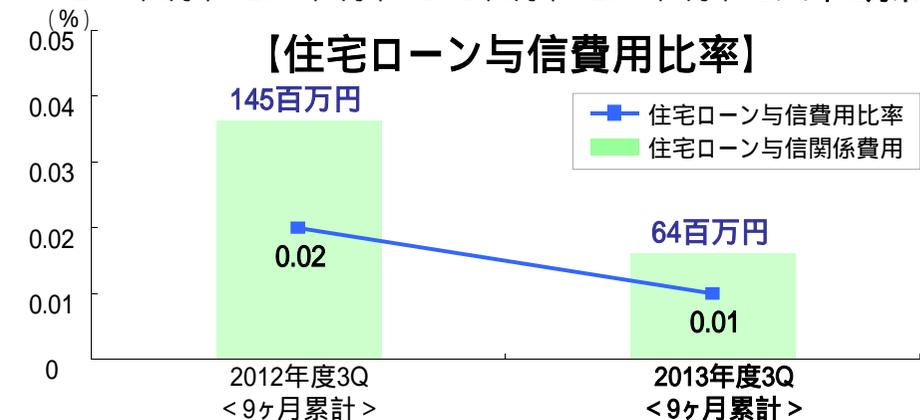
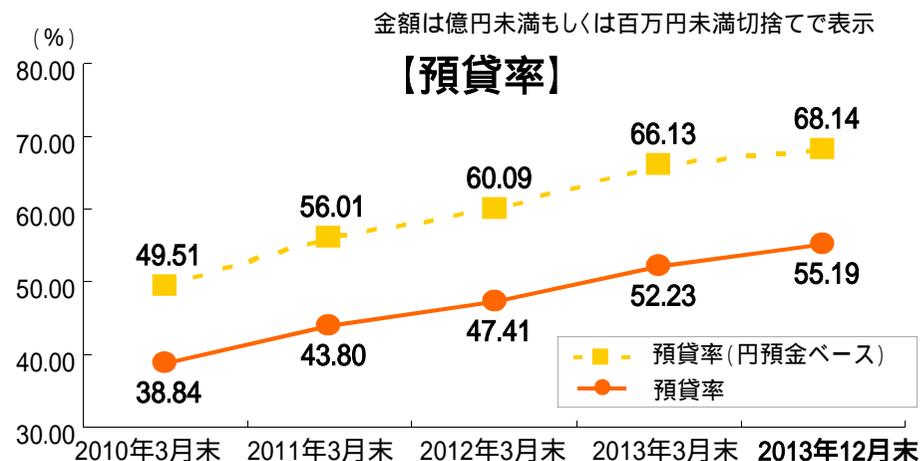
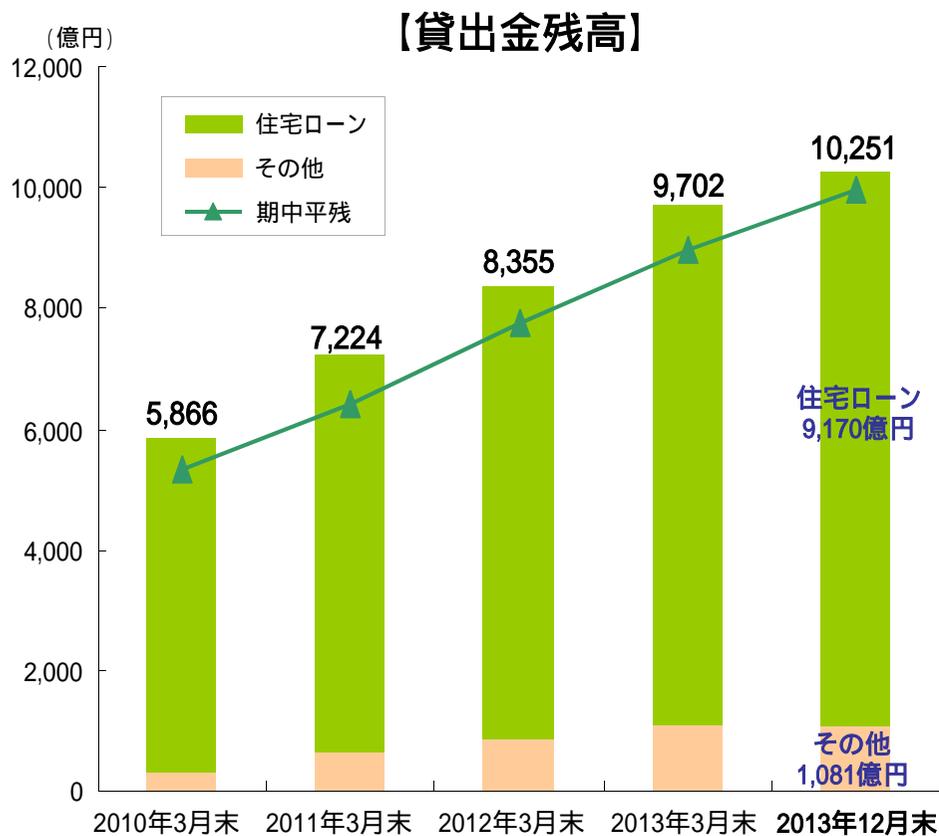
金額は億円未満切捨てで表示



貸出金の状況

< 単体 >

- 貸出金残高は、住宅ローンを中心に前年度末比549億円増加し1兆251億円。預貸率は55.19%と着実に改善。
- 住宅ローン与信費用比率は、前年同期に引き続き低水準を維持。



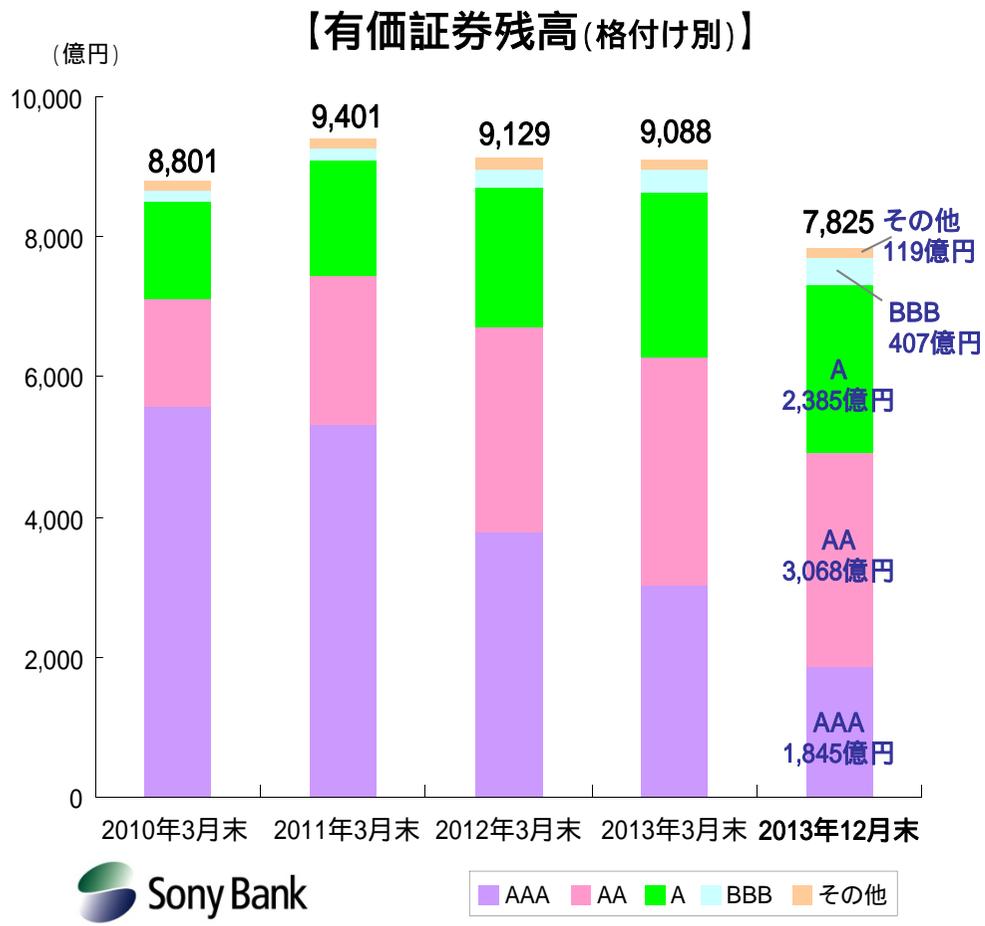
住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は94億円。

金額は億円未満切捨てで表示



【その他有価証券の内訳】

(億円)

	2013年3月末	2013年12月末
債券	4,492	3,163
国債	1,860	917
地方債	612	563
社債	2,019	1,682
その他	4,491	4,559
外国債券	4,420	4,480
その他の証券	70	78
合計	8,984	7,722
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 97 >	< 94 >

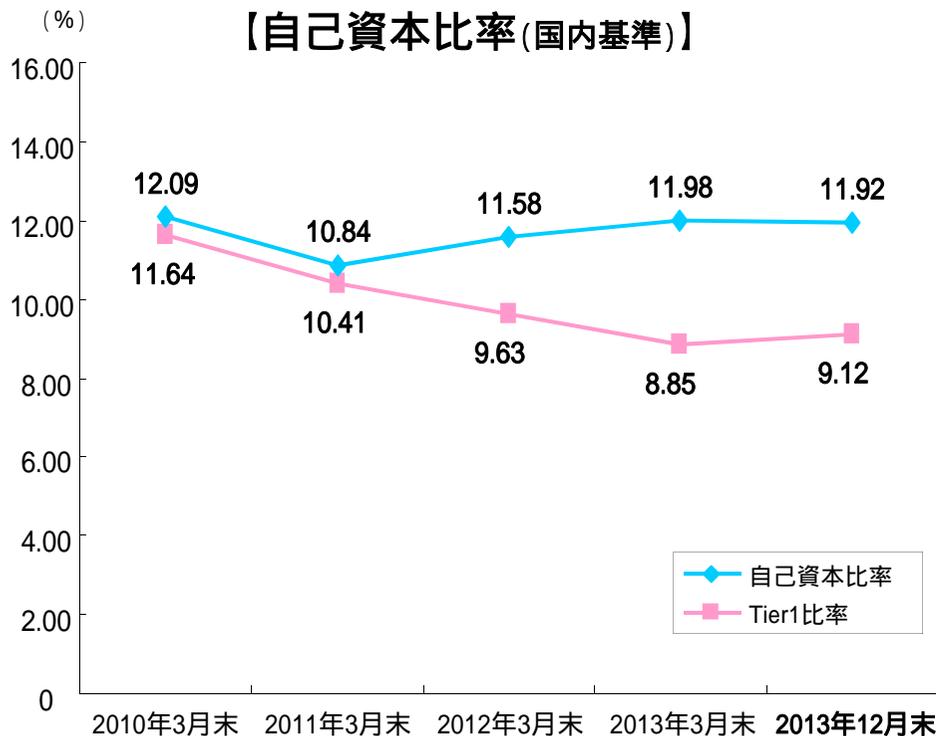
時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳



自己資本比率・格付け情報

< 単体 >

- 自己資本比率は11.92%と、健全な水準を維持。
- スタンダード&プアーズの「長期カウンターパーティー格付け」が、2014年1月20日付けで1ノッチ引き上げられ「A+」に。



平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。

【格付け(2014年1月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティー格付け「A+」	アウトルック「ネガティブ」
短期カウンターパーティー格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」